



～絆を深めて Keep Smile～

第123号 令和3年1月21日（木）

特集：ロシナンテスの川原様に講演をしていただきました。

ロシナンテスは、医療が受けられない地域に住む人々へ「医」を届けることで、一人でも多くの命を救うことを目指し活動する国際 NGO です。（ロシナンテス HP より）

みなさん、目の前に困っている人がいたら、どうしますか？

北九州市出身で、アフリカスーダンの医療体制や教育の充実に貢献しようと大活躍中の医師、川原尚行様の講演を聞くことができました。これはキャリア教育の一環で、子ども達のこれからの学校生活にとっても大切な指標となりました。

川原様は、医療と教育の充実を掲げ、アフリカのスーダンの人々を助けたい一心で活躍される様子を、熱く語ってくださいました。体を前のめりに傾けながら真剣に耳を傾ける子ども達。今、多くのことが当たり前にと与えられていることに、改めて見直す機会を頂きました。

最後に、川原様は子ども達へメッセージを残してくださいました。

① 困っている人がいたら助けてあげてください。

→困っている人が手を差し伸べられる人になってください。

② どんな人とも話をしてみてください。

→まずは話してみると仲良くなれるかもしれない。

③ 約束を守ろう。

→約束をしたからにはぜひ実行してください。

One for All , All for One （一人はみんなのために、みんなは一人のために！！）
の気持ちで頑張ってください。



子ども達の心に大きく響きました。



ぼくはあまり話ができない友達とも、話をしてみようという気持ちになりました。ぼくも川原さんのように、厳しい環境の中でも人を助けられるような素敵な人になろうと思いました。

あんな汚れた水でも飲むほど、本当にスーダンの人々を救いたいという気持ちが強いんだなと思いました。ぼくも、川原さんのように人のために生きたり、困っている人を助けたりして人の役に立ちたいです。

外国に行って医療を届けることがどれだけすごいことなのかよく分かりました。ぼくがスーダンに行って、みんなを助けてあげたいくらいです。ぼくも人のために生きようと思いました。

気持ちが「ダウン」になっていても、あきらめない川原さんを見て、これぞ本当のヒーローだと思いました。



つらいことがあっても、やり遂げる姿や、優しい心で仲良くなっていく姿を見て「すごいな」と思いました。相手の気持ちを思っているからこそ、信頼されているんだなと思いました。わたしは「ごめんなさい」と言えず「でも…」と言っていたけれど、これからは素直に「ごめんなさい」と言おうと思います。

海外に行くのにも勇気がいるのに、文化が全く違う国で人々を助けてかっこいいなと思いました。ぼくも大人になったら人の役に立ちたいです。今は、できる限りのことをして人の役に立つ人になりたいです。

スーダンの人々のために、学校を作ったり給水場を作ったりできる行動力がとてもすごいなと思いました。ぼくも川原さんのように、人が困っていたらすぐに助けに行ける人になりたいです。

自分のやりたいことを貫く行動力、茶色い水を飲んで笑顔になるところ、援助がなくても頑張ってやり続けるところがすごいと思いました。私も将来、人を助ける仕事に就きたいです。

川原さんがたくさんの人の命を救っていることについて知り、「医師は、こんなにすてきな仕事だったんだ」と思いました。最後に川原さんがおっしゃったことを少しでも守りたいと思いました。

「人のために生きなさい」という言葉が、私の将来のことを考える貴重なきっかけになりました。川原さんの活動は、とてもたくさんの人の命を救い、たくさんの人の笑顔を取り戻していることを知りました。「行動力」が大切だと学びました。

川原様、大変お忙しい中子ども達のために貴重なお話をして下さいありがとうございました！